

**有限会社アルパイン様が「SDGs宣言書」を策定されました！  
～「とうほうSDGsサポートサービス」による「SDGs宣言書」策定支援～**

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、お客さまのSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に関する取組みを支援するため、「とうほうSDGsサポートサービス（以下、本サービスとします）」をご提供しております。

この度、本サービスの利用を通じ、有限会社アルパイン様が「SDGs宣言書」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本サービスは、対話を通してお客さまのSDGsへの取組状況の確認と、経営課題の見える化を行うことで、お客さまの課題解決に向けた具体的な取組みをサポートしております。

また、診断結果に基づく「SDGs宣言書」の作成により、お客さまの特色ある取組みを発信するとともに、社会全体でのSDGsの機運も高めております。

当行では、引続きお客さまのニーズに応じたサービスを提供し、お客さまの成長・発展、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

発行企業	有限会社アルパイン
代表者	代表取締役 大橋 善博
所在地	福島県西白河郡西郷村大字羽太字牛窪20
事業内容	ロボット芝刈り機及び薪ストーブの販売・施工
企業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●創業から38年、メイン商品の薪ストーブに加えて、新たにロボット芝刈り機の取扱いも開始しております。人手不足や環境負荷の低減等、お客さまの課題解決の手助けとなる商品を取り揃えております。</li> <li>●当社の理念「安全・快適・いつまでも」のもと、ユーザーの皆さまの豊かな暮らしづくりの手助けを誠実に行ってまいります。</li> </ul>



宣言書を手にする大橋社長（右）



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。



# SDGs宣言書

2023年9月29日

## 有限会社アルパイン

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを以下の通り宣言します。

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
人権・労働	ワークライフバランス 安全衛生	従業員がワークライフバランスを充実させながら、安全に働くことができる職場環境を整備しております。 【具体的な取組み】 ・会社方針として定時退社を励行しております。 ・現場では作業計画のもと安全管理者を設置し、安全衛生パトロールを実施し、従業員の安全を確保しております。	 
環境	環境負荷の軽減	当社理念「安全・快適・いつまでも」のもと、ユーザーのみみなさまの豊かな暮らしづくりの手助けを誠実に行ってまいります。また、環境負荷の少ない製品や、省力化に向けた製品の普及・啓発を通じて、環境保全や人手不足等の社会課題解決に貢献してまいります。 【具体的な取組み】 ・ロボット芝刈り機の販売やレンタルを通じて刈り芝の大量廃棄等を抑制し、廃棄物の削減と省力化による人手不足の解決に貢献しております。 ・ロボット芝刈り機の充電ポートに太陽光発電を活用し、CO2排出量削減を図るなど、更なる環境負荷の低減に取り組んでおります。	   
製品・サービス	安全・快適・いつまでも	・お客さまに各種製品の使用方法を丁寧にレクチャーさせていただくなど、安全快適にご利用いただくためのきめ細かなサポートを徹底しております。 ・薪ストーブの販売・施工・メンテナンスを通して、木材や端材の有効活用、適正なメンテナンスを通じたストーブの長期間活用等により、廃棄物削減に貢献しております。 ・薪ストーブ施工にあたっては、NFPA 211（米国火災予防基準）や日本暖炉ストーブ協会の安全基準を遵守徹底し、安心・安全な製品・サービスを提供しております。	 
社会貢献 地域貢献	地域経済活性化 地域づくり	豊かな里山を維持する活動を通じ、自然と共生する地域づくりに貢献してまいります。 【具体的な取組み】 ・「白河高原薪の会」の運営に携わりながら、地域のみみなさまと交流し、木材の消費や山林整備の重要性を啓蒙しております。 ・植樹活動や薪割体験会の開催を通じて、里山の維持保全への理解を深める活動をしております。 ・ホームページで活動や関連情報の発信を行い、環境配慮への意識を啓発してまいります。	     

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称です。2015年9月、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、2030年を期限とする17のゴール(目標)と169のターゲットのことで、2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。